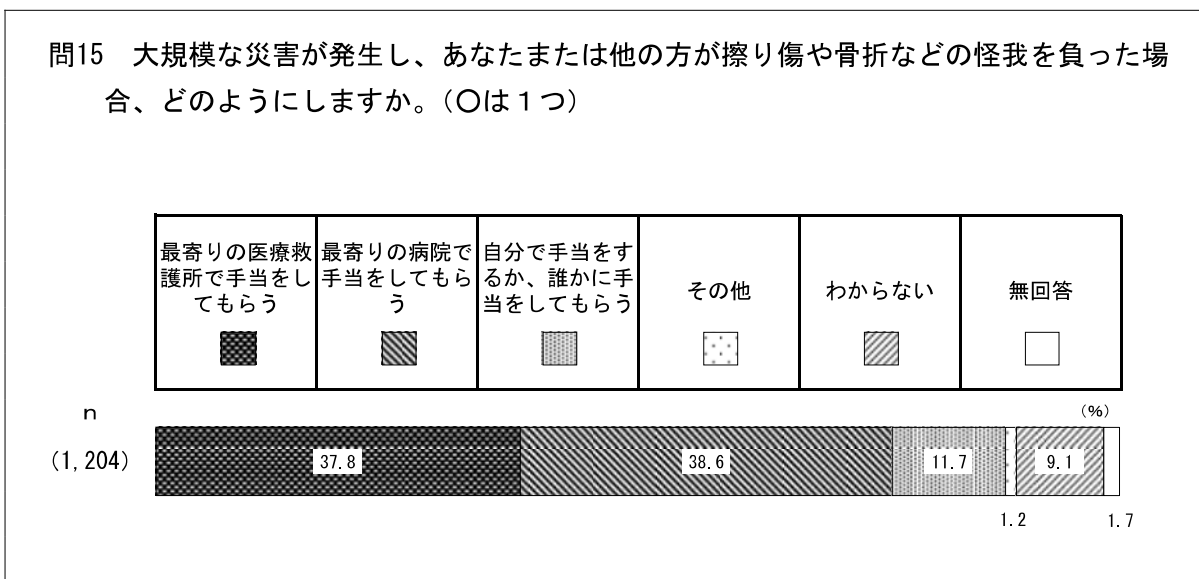


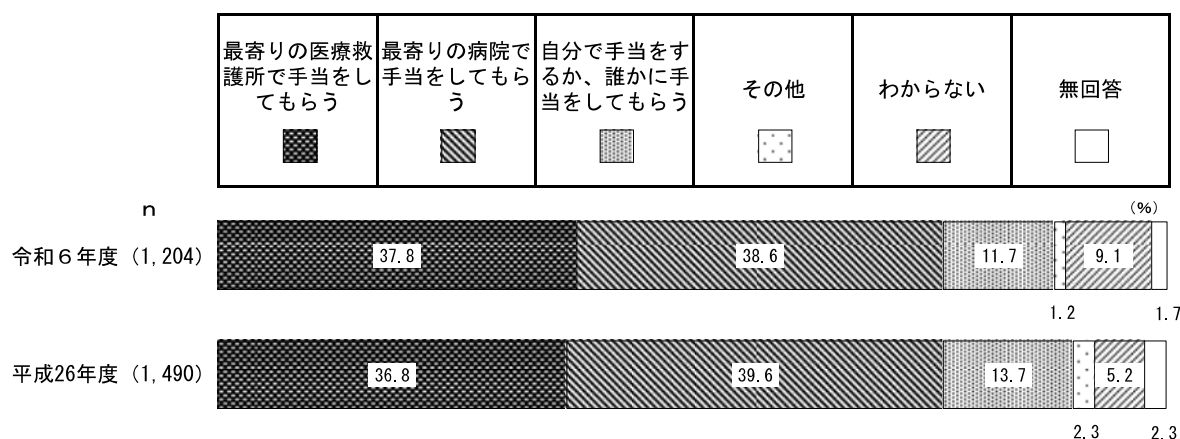
(4) 大規模災害が発生し怪我を負った場合の対処法



大規模な災害が発生し、あなたまたは他の方が擦り傷や骨折などの怪我を負った場合、どのようにするかたずねたところ、「最寄りの病院で手当をしてもらう」(38.6%)は4割近くと最も高くなっている。次いで、「最寄りの医療救護所を手当をしてもらう」(37.8%)、「自分で手当をするか、誰かに手当をしてもらう」(11.7%)と続いている。

<経年比較>

過去の調査結果と比較すると、「わからない」は平成26年度より3.9ポイント増加している。



<性別・性／年齢別・区別結果>

性別でみると「最寄りの医療救護所で手当をしてもらう」は女性が男性より6.0ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると「最寄りの病院で手当をしてもらう」は男性60～69歳が最も高く、4割半ばとなっている。

区別でみると「最寄りの病院で手当をしてもらう」は緑区で4割を超えている。

